

## 令和7年度 地域推進会議 報告書

日時 令和8年3月16日(月) 14:00~15:00

場所 ホームズしらさぎ (堺市日置荘原寺町156-2)

参加者 【本人】 推進員 2名

【家族】 推進員 1名 【地域】 推進員 1名

障害者基幹相談支援センター 推進員 1名

ホームズしらさぎ 所長(管理者)1名・サービス管理責任者2名・生活支援員1名

### 1. 所長挨拶

出席者の紹介と地域連携推進会議の目的と内容について、資料を基に説明を行った。

### 2. ホームズしらさぎについて

サービス管理責任者より、資料に沿って説明を行った。また、グループホームに居住している、ご本人の推進員から、それぞれホームでの生活について話があり、他の推進員からの質問に答える形で進んだ。

内容は下記のとおり

#### ① グループホームでの過ごし方や気に入っていることなど

・体を鍛えることが好きなので、階下にあるスポーツジムに通っている。便利なので、仕事の時も、休日にも行き、はまっている

・夫婦で買い物に行ったり、土日は大阪市内に出かけたり、地域のイベントに行くこともある。

・夫婦間でのあるあるのやり取りを話され、会議の場も和やかになった。

#### ② 自治会や近隣の住民との関係

・階段長や団地の人が声をかけてくれる。こちらも顔を合わせると挨拶している。

階段で具合が悪くなった時も、外に出て来て、救急車を呼んでくれた。

団地の清掃にも参加している。

### 3. 苦情について

令和7年度に受け付けた苦情について報告し、地域で生活することで起こるアクシデントへの

意見交換を行った。

推進員より

・いろいろな活動をしている自分でも、利用者それぞれ個性があり、距離感をつかむのは難しいと感じている。地域と繋がっていかないといけないと思う。

・金銭管理についての質問には、社会福祉協議会の日常生活支援事業の利用状況や、ホームズしらすぎでの「貴重金品預かりサービス」の説明を行った。

・親が高齢になり、金銭の管理ができなくなってくることの不安を話された。

成年後見制度の利用については、後見人等の選定について、まだまだ理解が追いついていないと感じた。

会議終了後、グループホームの見学を行った。